

なぜフォーチュン500企業の上位10社のうち9社がPCI SSC に加盟したのでしょうか？

リーダーシップ、協力、そして重要なリソースの共有を通じて、PCI 参加組織は決済セキュリティの未来を形作っています。

参加組織は、PCI Security Standards Council (PCI SSC) が決済データのセキュリティ確保と保護における信頼性のグローバル拠点であり、それが業界にとって大きな成功につながっていることを長年にわたり認識してきました。消費者は今やキャッシュレス決済をすぐに受け入れ、新しいデジタル決済方法へと移行しつつあります。企業は、販売時点情報管理システム、デジタルウォレット、モバイル決済、オンライン決済ゲートウェイなどを統合することで対応しています。

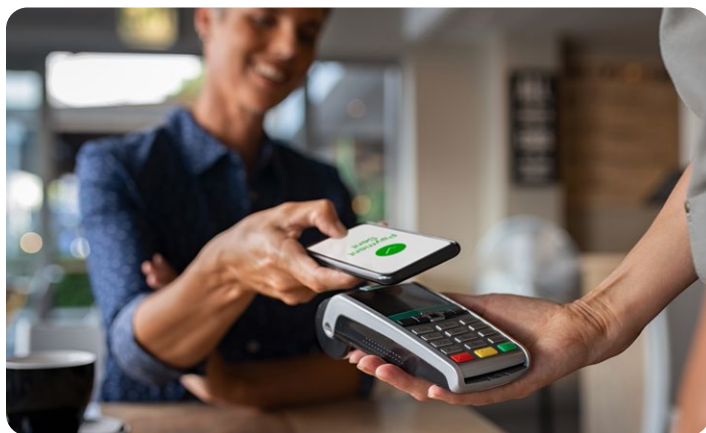
この急速なペースで変化する新しい決済技術は、決済エコシステム全体における協力の必要性を加速させています。では、なぜフォーチュン500企業の上位10社のうち9社がPCI参加組織になったのでしょうか？簡単に言えば、彼らはPCI SSC への積極的な参加を通じて、決済セキュリティの未来を形作る上で、同業他社をリードしていると言えるでしょう。



コラボレーション

情報共有こそが、この強力な同盟の中核をなす要素です。PCI SSC に参加する企業は、オープンな対話を通じて、進化するサイバー脅威や新たな決済技術に関する情報を交換しています。この集約的な脅威インテリジェンスにより、彼らはサイバー攻撃を予測し、戦略的に対応することができ、それぞれのネットワークの堅牢性を向上させることができます。その結果、彼らは自身のデジタル資産だけでなく、顧客の貴重なデータを保護するためにより万全な準備を整えることができます。この共通の警戒態勢は、サイバー犯罪という絶えず変化する戦場における、先を見越した防御策となります。

重要なリソース



PCI SSC は現在、15の規格を監督し、数千人のサイバーセキュリティ専門家を育成・認定し、安全な製品のテストとリストの維持管理を行い、世界の決済データを安全に保つために設計された充実した教育リソースを提供する中心的な役割を担っています。各基準、トレーニングプログラム、および機器リストは、ある一つの優先事項を念頭に置いて作成されています。決済技術の急速な進化に対応しながら、グローバルな決済データのセキュリティを確保します。これらの PCI 参加組織による知識共有と協力こそが、世界の決済データを安全に保つための基準、プログラム、リソースの変革を推進している原動力となっています。

PCI SSC は決済セキュリティについて一般の人々に情報を提供することを目的としているため、そのリソースを利用する人々にとって、教育は大きなメリットとなります。PCI SSC の研修機会を利用する参加者や関係者は、見過ごされがちなメリット、すなわち継続的な専門教育 (CPE) 単位を取得できるという利点を楽しむことができます。提供される様々なプログラム、イベント、プレゼンテーションの機会を通して、一人あたり100単位以上の継続専門教育 (CPE) 単位を取得し、活用することができます。

PCI SSC に加盟する組織は、最先端のセキュリティへの取り組みを表明し、急速に変化する決済受付技術の世界におけるサイバー脅威に対する積極的な姿勢を強調することになります。PCI SSC に参加することで、重要な決済基準の開発においてあなたの意見が反映されるようになり、また、あなたの組織は変化するテクノロジーに対応するための知識を得ることができます。最も重要なのは、参加組織として、決済データに対する増大する脅威を軽減するために貢献できるということです。



参加組織の拡大を続けるコミュニティの全リストをご覧ください。

https://www.pcisecuritystandards.org/ja/get_involved/participating_organizations/



PCI SSC に加盟組織として参加するためのあらゆる方法について、詳しくはこちらをご覧ください。

https://www.pcisecuritystandards.org/ja/get_involved/participation/



2024年のコミュニティイベントや業界向けプログラムをご覧ください。

<https://events.pcisecuritystandards.org/>



迷わず、今すぐ参加しましょう！

<https://programs.pcissc.org/poregistration.aspx>